

進捗状況報告シート

(2011年度・大学)

担当部局は ☆印の箇所を記入してください。

I. 評価項目・要素と担当部局

対象部局	理工学研究科
大項目	6 教育内容・方法・成果 (研究科)
中項目	6.1 教育目標、学位授与方針、教育課程の編成・実施方針
小項目	6.1.1 教育目標に基づき学位授与方針を明示しているか。
要素	学士課程・修士課程・博士課程・専門職学位課程の教育目標の明示 教育目標と学位授与方針との整合性 修得すべき学習成果の明示
小項目	6.1.2 教育目標に基づき教育課程の編成・実施方針を明示しているか。
要素	教育目標・学位授与方針と整合性のある教育課程の編成・実施方針の明示 科目区分、必修・選択の別、単位数等の明示
小項目	6.1.3 教育目標、学位授与方針および教育課程の編成・実施方針が、大学構成員（教職員および学生等）に周知され、社会に公表されているか。
要素	周知方法と有効性 社会への公表方法
小項目	6.1.4 教育目標、学位授与方針および教育課程の編成・実施方針の適切性について定期的に検証を行っているか。
要素	

II. 自己点検・評価(2010.5.1～2011.4.30の進捗状況報告)

《目標・指標》

本項目において、2009年度～2013年度の中期的な「目標」と「指標」を次のとおり設定し、毎年度進捗状況の評価を行っている。進捗評価はA～Dの4段階とし自ら評価した。A～D評価は目安として次のようなものである。

- A : 目標実現のための計画や方策などを適切に実行し、目標を達成している。もしくはほぼ達成している。
- B : 目標実現のための計画や方策などを概ね適切に実行しているが、まだ目標は達成していない。
- C : 目標実現のための計画や方策などを実行しているが十分ではなく、目標は達成していない。達成にはまだしばらく時間がかかる。
- D : 目標実現のための計画や方策などを実行していない。当然目標は達成していない。

2009年度に設定した「目標」	左記目標の「指標」	進捗評価				
		2009	2010	2011	2012	2013
1. 修士及び博士学位取得基準と達成学習目標を2010年度中に明文化し、公表する	→公表したホームページ。	D	C			
2. 最先端の研究を遂行することにより教育を活性化する。	→科研費やプロジェクト研究への申請及び採択件数。	B	B			
		☆				
2010年度以降に設定した「目標」	左記目標の「指標」	2009	2010	2011	2012	2013
	→					
	→					

《現状の説明》 ※ 全小項目について記述が必要

小項目6.1.1	6.1.1 教育目標に基づき学位授与方針を明示しているか。
	(方針明示の有無) いずれかにチェックしてください。 →→→→→→→→→→ <input type="radio"/> 明示している <input checked="" type="radio"/> 明示していない (学位授与方針)
	(説明) 学位授与方針については、生命科学専攻、情報科学専攻、物理学専攻に於いては策定は概ね終了している。一部の専攻において分野を越えて統一の評価が難しく、調整が必要である。
小項目6.1.2	6.1.2 教育目標に基づき教育課程の編成・実施方針を明示しているか。
	(方針明示の有無) いずれかにチェックしてください。 →→→→→→→→→→ <input checked="" type="radio"/> 明示している <input type="radio"/> 明示していない (説明) 科目区分、必修・選択の別、単位数等の明示は履修指導にて徹底化された。学位授与のプロセスも公表された。
★ 小項目6.1.3	6.1.3 教育目標、学位授与方針および教育課程の編成・実施方針が、大学構成員（教職員および学生等）に周知され、社会に公表されているか。
	(周知・公表の有無) いずれかにチェックしてください。 →→→→→→→→→→ <input type="radio"/> 周知・公表している <input checked="" type="radio"/> 周知・公表していない (説明) 学位授与方針については調整段階であり、公表していない。教育課程の編成・実施方針（学位授与プロセス）については公表した。

小項目6.1.4	6.1.4 教育目標、学位授与方針および教育課程の編成・実施方針の適切性について定期的に検証を行っているか。 (検証の有無) いずれかにチェックしてください。 →→→→→→→→→→ <input checked="" type="radio"/> 検証している <input type="radio"/> 検証していない
	(説明) 大学院委員会を2010年度は年間6回開催し、教育課程のプロセスについて問題点を検証している。あわせて学位授与方針の策定に向けて協議中である。
その他	2010年度の大型プロジェクトとして4件のJST、1件のNEDO、6件の文部科学省私立大学戦略的研究基盤形成支援事業(旧私立大学学術研究高度化推進事業を含む)、55件の科研費が採択された。

《評価指標データ》

カリキュラムの編成や体系等を常に検討する委員会の有無と開催頻度
必修・選択ごとの開設授業科目数
系列別卒業必要単位数

☆ 追加データがあれば追加してください。

◎効果が上がっている事項 ※目標の進捗評価が「A」の場合は必ず記述してください。

《点検・評価(1)》効果が上がっている事項 注)出来るだけ内容を裏付ける客観的根拠を記述してください。

小項目6.1.1	
小項目6.1.2	
☆小項目6.1.3	
小項目6.1.4	
その他	



《次年度に向けた方策(1)》伸長させるための方策

注)出来るだけ手順や方法を明確にするなど行動計画を具体的に記述してください。

小項目6.1.1	
小項目6.1.2	
☆小項目6.1.3	
小項目6.1.4	
その他	

◎改善すべき事項 ※目標の進捗評価が「D」の場合は必ず記述してください。

《点検・評価(2)》改善すべき事項 注)出来るだけ内容を裏付ける客観的根拠を記述してください。

小項目6.1.1	
小項目6.1.2	
☆小項目6.1.3	
小項目6.1.4	
その他	



《次年度に向けた方策(2)》改善方策

注)出来るだけ手順や方法を明確にするなど行動計画を具体的に記述してください。

小項目6.1.1	
小項目6.1.2	
☆小項目6.1.3	
小項目6.1.4	
その他	

◎自由記述

【点検・評価】&【次年度に向けた方策】

★ その他
(自由記述)

Ⅲ. 学内第三者評価

<評価専門委員会の評価>

【学外委員】

- 「目標」2は、大項目「教育研究等環境」に配置したほうが適切と思われます。
- ディプロマ・ポリシーの迅速な策定・公表が望まれます。

【学内委員】

- 小項目6.1.1の学位授与方針の明示が一部の専攻における調整のため明示されていません。いたしかたないこととはいえ、できるだけ早い時期に明示・公表することが求められます。小項目6.1.2教育課程の編成・実施については明示されているため、学位授与方針との整合性をチェックすることが求められます。教育課程の編成・実施の適切性の検証については、定期的に行われていること自体は評価できますが、この評価も大元となる学位授与方針との整合性に基づいて行われる必要があると思われます。
- 「学位授与のプロセスも公表された。」とありますが、全専攻とも公表されているのでしょうか。そのURLをご提示いただければありがたいです。
- 学位授与の方針について一部の専攻では調整が必要とのことですが、早急に定められることを期待します。
- 学位授与方針の明示が待たれるところです。

【大学基準協会：評価に際し留意すべき事項】

○小項目6.1.1

基盤評価：「課程修了にあたって修得しておくべき学習成果、その達成のための諸要件（卒業要件・修了要件）等を明確にした学位授与方針を、理念・目的を踏まえ、設定していること」

達成度評価：なし

○小項目6.1.2

基盤評価：「学生に期待する学習成果の達成を可能とするために、教育内容、教育方法などに関する基本的な考え方をまとめた教育課程の編成・実施方針を設定していること」

達成度評価：なし

○小項目6.1.3

基盤評価：「公的な刊行物、ホームページ等によって、教職員・学生ならびに受験生を含む社会一般に対して、学位授与方針、教育課程の編成・実施方針を周知・公表していること」

達成度評価：なし

○小項目6.1.4

基盤評価：なし

達成度評価：「検証を実施する体制を整備し、責任を明確にするなどしたうえで、教育目標、学位授与方針および教育課程の編成・実施方針の適切性について、恒常的かつ適切に検証を行っている」

Ⅳ. 学内第三者評価の評価結果を受けての追加記述

6.1.2 (現状説明)

★ 学位授与プロセスは、2011年度中に公表される予定である。